

## 持続可能な社会の実現に向けて

### 地球温暖化対策

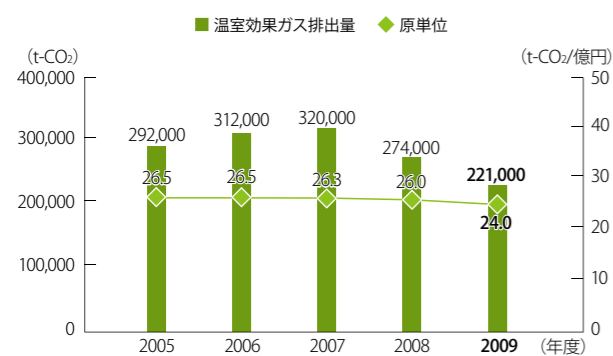
低炭素社会の実現を目指して「エネルギーを無駄なく利用する製品とものづくりで、グローバルに地球温暖化防止に貢献」します。

自らの生産活動から発生する温室効果ガスについては、総量削減を基本としますが、生産性向上を目指した改善を推進するために原単位目標を定め、二つの指標を用いて削減活動を実行します。

#### トピック

設備投資や生産性向上活動などによる自らのCO<sub>2</sub>削減を徹底した上で、さらに目標に不足する量は、当社の製品・技術による削減から生じるクレジット等の活用を検討します。具体的には、国内クレジット制度へ共同削減事業者として参加し、当社グループの製品技術が関与する国内クレジットの獲得を目指しています。

温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>換算)



・電力換算係数は、電力事業者毎の係数を採用しています。  
(2009年度は2008年度の係数を利用して計算)  
・船舶の海上試運転に伴うCO<sub>2</sub>排出量は、2009年度より生産拠点のCO<sub>2</sub>排出とは別に管理することとしました。

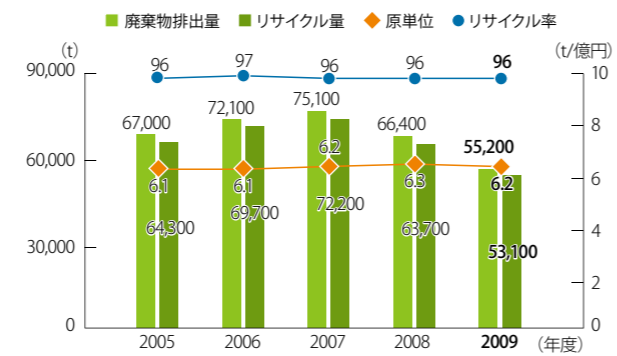
### 廃棄物削減活動

廃棄物削減の取り組みとして、工場の特性に合わせた活動を推進するとともに、各工場に共通する項目については、グループ全体で取り組んでいます。

#### 全工場共通の取り組み

- 廃棄物の排出量上位3物質(金属くず・廃油・木くず等)の削減活動
- 省資源、3Rの推進
- ゼロエミッションの維持・向上
- 電子マニフェスト導入の推進

廃棄物排出量とリサイクル率



### 化学物質削減活動

化学物質の削減活動の対象として、主要VOC、ジクロロメタン、有害重金属について事業所ごとに目標を設定し、削減に取り組んでいます。

削減対象化学物質の排出・取扱量 (t/年)

項目	2009年度の排出量(取扱量)	2008年度比増減
主要VOC	トルエン	305 -7.0%
	キシレン	719 -5.4%
	エチルベンゼン	324 +7.6%
	合計	1,348 -3.0%
ジクロロメタン	51 +2.0%	
有害重金属	鉛	2.4 -33.3%
	六価クロム	22 +10.0%
	カドミウム	0.12 0%

・主要VOCおよびジクロロメタンは排出量、有害重金属は取扱量を表示。  
・カドミウムについては、取扱量が500kg未満であるため、PRTR法による集計には含まれていません。

PRTR法で定められた化学物質の排出・移動量のデータについてはWeb版「環境負荷データ詳細」をご覧ください。

詳しくは:川崎重工「2010年版 CSR報告書(詳細版)」  
<http://www.khi.co.jp/csr/report/index.html>



VULCAN 900 Classic

## 製品に対する環境配慮

川崎重工グループは、製品を通じた環境貢献を「グループミッション」の柱の一つと考えています。製品アセスメントの実施や、海外の法規制・業界の自主規制などへの対応を徹底し、グループ全体で製品に対する環境配慮を推進していきます。

### 《川崎重工グループの主な取り組み》

#### 製品アセスメントの実施

当社は、新規開発・設計製品や特に重要な製品に対して、省資源、省エネルギー、リサイクルなどについて製品アセスメントを実施し、製品のライフサイクルでの環境負荷の低減を目指しています。製品の種類によって具体的な評価方法が異なるため、各々の事業部門ごとに製品特性に合った「製品アセスメント規程」を作成しています。

### ELV指令<sup>1)</sup>、RoHS指令<sup>2)</sup>、REACH規則<sup>3)</sup>などの海外の法規制への対応

2000年以降、EUにおいては、ELV指令、RoHS指令、REACH規則などにより化学物質に対する法規制が強化され、当社の一部の製品においてサプライチェーン全体で自社の製品に含まれる化学物質の情報を把握するシステムが必要になっています。

化学物質の情報把握については、各々の事業部門ごとに「グリーン調達」(26ページ参照)により対応していますが、モーターサイクル&エンジンカンパニーでは、「カワサキ環境負荷物質データ収集システム」を構築し、REACH規則はもちろん、その他の物質規制法案への対応体制を整備しています。

<sup>1)</sup> ELV指令:廃自動車に関するEU指令(リサイクル/重金属使用制限等)  
<sup>2)</sup> RoHS指令:電気・電子機器に対する有害物質使用制限に関するEU指令  
<sup>3)</sup> REACH規則:化学物質の登録・評価・認可・制限に関するEU規則

### 《モーターサイクル&エンジン部門における取り組み》

#### 排出ガスのクリーン化

2009年度も昨年に引き続き、国内販売二輪車の排出ガスのクリーン化に取り組み、排気系の改良により、平成19年度国内排出ガス規制に適合し、高い環境性能を実現した大排気量クルーザーモデル「VULCAN

900 Classic」の販売を開始しました。

フューエルインジェクション(電子制御燃料噴射)システムなどの採用以外に排出ガス中の酸素濃度を検出するO<sub>2</sub>センサーを採用し、燃料噴射量を緻密にコントロールすることで、触媒が効率よく機能する最適な空燃比を実現するとともに、ハニカム触媒の容量の増加により排出ガスに含まれる有害物質の浄化性能を向上させています。

### 3Rの推進

二輪車国内メーカー4社、輸入事業者12社が2004年10月から共同で運用している自主取組の「二輪車リサイクルシステム」において、当社の2009年度(6年度目)の実績は、リサイクル率87.6%に達しています。

また、新型二輪車では開発段階からリデュース・リサイクルなどの環境配慮設計に取り組み、設計/試作/量産の各段階の前で3Rへの取り組みの事前評価を行っています。特に、リサイクルしやすい材料の採用などによりリサイクル性の向上に努め、リサイクル可能率は、全機種90%以上を達成し、大半の機種は95%以上を達成しています。

### 環境負荷物質の廃止・削減

国内販売の新型二輪車は、既に(社)日本自動車工業会が定めた自主削減目標を達成して販売していましたが、その他の継続販売している二輪車でも自主削減の目標を達成しました。なお、国内販売の新型二輪車の環境負荷物質(鉛/水銀/六価クロム/カドミウム)の廃止・削減状況は、川崎重工ホームページの「車種別環境情報」で公表しています。

詳しくは:川崎重工「車種別環境情報」  
[http://www.kawasaki-cp.khi.co.jp/environment/model\\_eco/top.html](http://www.kawasaki-cp.khi.co.jp/environment/model_eco/top.html)